



# 二年学級新聞



## NHK朝の連ドラ「あんぱん」と宇佐市 繋がっていた

1月12日、宇佐市の主催で脚本家の中園ミホさんが、講演会をされました。彼女は、NHK朝ドラ「あんぱん」の脚本を担当されています。この朝ドラは「アンパンマン」を描いたやなせたかさんとその妻をテーマとした物語でした。

みなさん、朝ドラ見ていましたか？私は仕事があるため、残念ながら見ていません。

普段、脚本家が誰なのかなど関心はありません。ただ彼女の講演に友人に誘われ宇佐ノピアの会場に行くとびっくり！会場は、超満員（立ち見の方もいるほど）です。これほど入っているその会場は、初めてみました。連ドラ「あんぱん」の人気ぶりのすごさがすぐにわかりました。彼女は、ドクターXなど人気ドラマを手掛ける物凄い有名人でした。

まず、彼女と宇佐市の繋がりは、次のようなことです。彼女の父親は、長峰小学校の卒業生です。彼女は、東京生まれ・東京育ちですが、子どもの頃、長期休暇を長峰で過ごし川遊びなどした思い出を懐かしそうに語りました。

そして、本題の彼女が「なぜやなせさんを書こうかと思ったのか」・・実はこの2人、50年程前に文通という形で知り合いました。大人になり偶然再会し、その後も交流が続いていたそうです。人の縁というのは本当に不思議なものだと感じました。

アンパンマンが誕生した背景には、やなせさんの戦争体験がある。戦時中の「正義」というものがいかに信用しがたいものかを痛感した。戦中、戦後の深刻な食糧事情もあり当時から「人生で一番つらいことは食べられないこと」という考えをもっていた。そのような背景の中50代で「アンパンマン」が大ヒットするようになった。主題歌の中に「愛と勇気だけがともだちさ～」があるように、「正義」は飢えや空腹に苦しむ人へ手をさしのべることだという思いにたどり着いた。アンパンマンが自分の顔を食べて元気になってもらうのは、その思いがあるからです。

脚本家とアニメ作成者の不思議な縁で、始まった連ドラは、やなせさんの思いを尊重し、中園さんが様々な背景をさぐり創作したものです。戦争というものがいかに愚かで歪んだ「正義」がまかり通る時代となるんだということが根底にあります。戦後80年という節目の年に、連ドラ「あんぱん」は大ヒットとなりました。

私は、連ドラをみていないので、図書館に本があれば「あんぱん」を読みたいと思います。

## 単位認定試験終わる

1月19・20日に2年生の単位認定試験が実施されました。1年間の総まとめの試験であり、単位取得のかかっている重要なものです。みなさん、緊張感の中、懸命に筆記具を動かしていました。

さあ、結果はどうだったか！



園児とロケット教室



京田スズカと交流

## 自分時間どう使ってますか

単位認定試験が終われば、自分の時間がかなり増えます。この時間、ぜひ有効に使えるといいですね。家の手伝い、バイト、免許証取得、趣味を楽しむ、など自分磨きをして何か輝いている自分をみつけましょう。

## 今後の予定、イベント

2月 6日 (金)	職業体験フェスタin福岡
18日 (日)	卒業生送る会
3月 1日 (日)	卒業証書授与式
2日 (月)	休校
19日 (木)	終業式
22日 (日)	なないろ祭 (大分駅前)
23日 (月)	休校
4月 8日 (水)	始業式
12日 (日)	入学式